



令和の
里海づくり

NPO法人 賀谷藻場保全会

里山・里海の水循環回復による藻場再生と普及啓発・産品販売の仕組みづくり

令和5年度
「令和の里海づくり」
モデル事業成果



地域の概要及び課題

【資源】

- ・ 対馬海流（暖流）の影響を強く受け、栄養塩類が多い豊かな漁場を形成
- ・ ツシマヤマネコなど対馬固有種も多い固有生態系を育む他、
- ・ 複雑な海岸線が続き山と海からなる雄大な自然風景

【課題】

- ・ 賀谷を含む対馬沿岸部全域で藻場消失が深刻・進行中で海洋生態系に及ぼす影響と漁業従事者に甚大な影響
- ・ 水循環回復に向けた順応的管理の継続化

保全と活用の好循環形成に向けた将来ビジョン



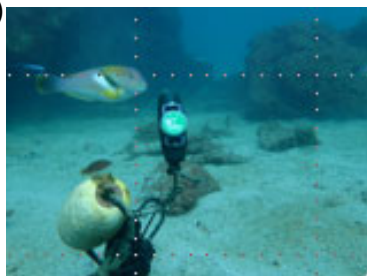
対馬市賀谷地先
長崎県対馬市



R4～5年度モデル事業における取組内容および成果

定期モニタリング・順応的管理

- ・ 定期的な藻場モニタリング調査（健全な水循環回復に向けた順応的管理）



【成果】

専門家と連携した定期的モニタリングにより継続的にデータを蓄積し、再生手法の有効性を検証しながら実践する基盤を形成できた。

里山・里海の水循環回復

- ・ 【里山】植林、下草刈り、生産
- ・ 【里海】カジメ種苗投入、アオリイカ（海藻食害魚捕食）産卵床設置



【成果】

定期モニタリングと組み合わせて、順応的管理による藻場保全・再生活動の継続的实施体制を確立できた。里山・里海の産品作りにもつながった。

エコツアー受入による関係作り

- ・ モニターツアー等による好循環形成に向けたエコツアー開発
- ・ 普及・学習プログラム・ツール開発

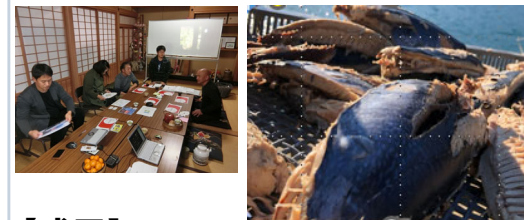


【成果】

賀谷地区や保全活動への関係作りに向けた普及啓発、環境学習、エコツアー（体験）の受け入れのためのプログラム・ツールを整備・開発できた。

賀谷産品を通じた関係作り

- ・ 好循環形成に向けた賀谷産海産物の商品開発・販売体制検討



【成果】

強い支持層を引き付けて活動を応援する関係人口を創出し、無理しすぎず継続するマイクロ好循環の仕組みとして賀谷産品販売体制を形成した。

今後の課題および 取組方針

- ・ 藻場再生には地道で継続的な活動とその基盤が必要であり、取得データ等をもとに効果的な再生へ繋げていくことが今後の課題。
- ・ 負担を一部の人に集中せず金銭的・気持的に無理なく活動できるよう、関係人口とのネットワーク化を活かした仕組みをつくっていく。